



STEP 0 はじめに

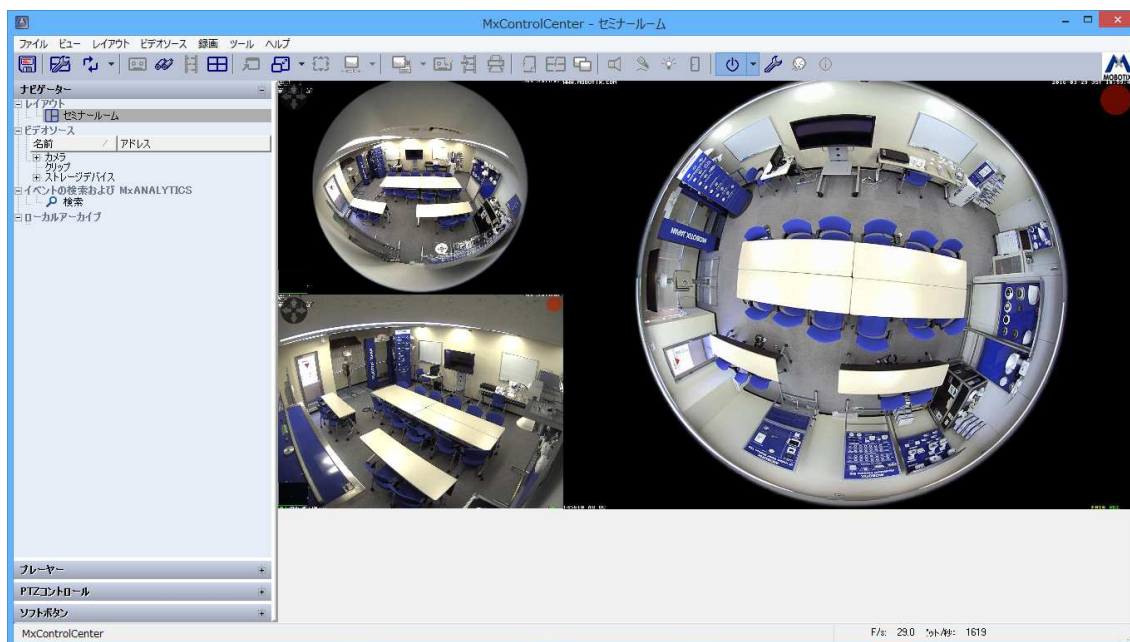
カメラソフトウェアマニュアル「録画設定」を参考に、録画設定を行います。カメラソフトウェアマニュアルは、**MOBOTIX JAPAN** の **HP** にてダウンロードすることが可能です。

<http://www.mobotix-japan.net/download/manual/index.html>

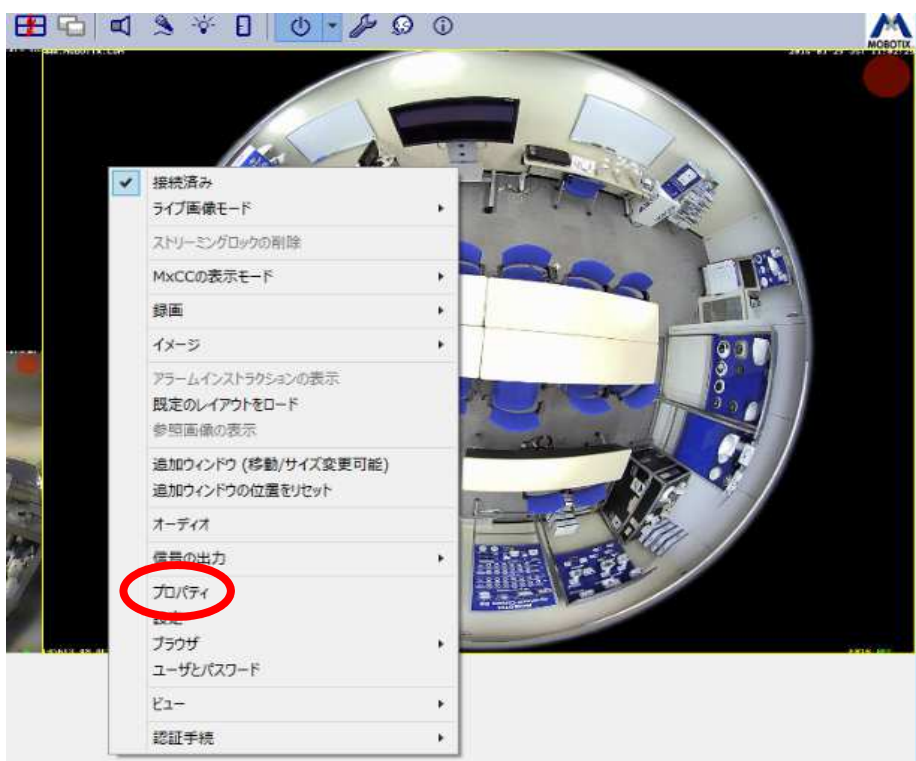


STEP 1 録画画像の検索

1. 「インストール 起動方法」や「マルチ画面の作成方法」のマニュアルを参考に **MxControlCenter** を起動し、カメラのライブ画像を表示します。



2. カメラのライブ画像上で、右クリック→「プロパティ」をクリックします。



3. 録画へのアクセスの「変更」をクリックします。



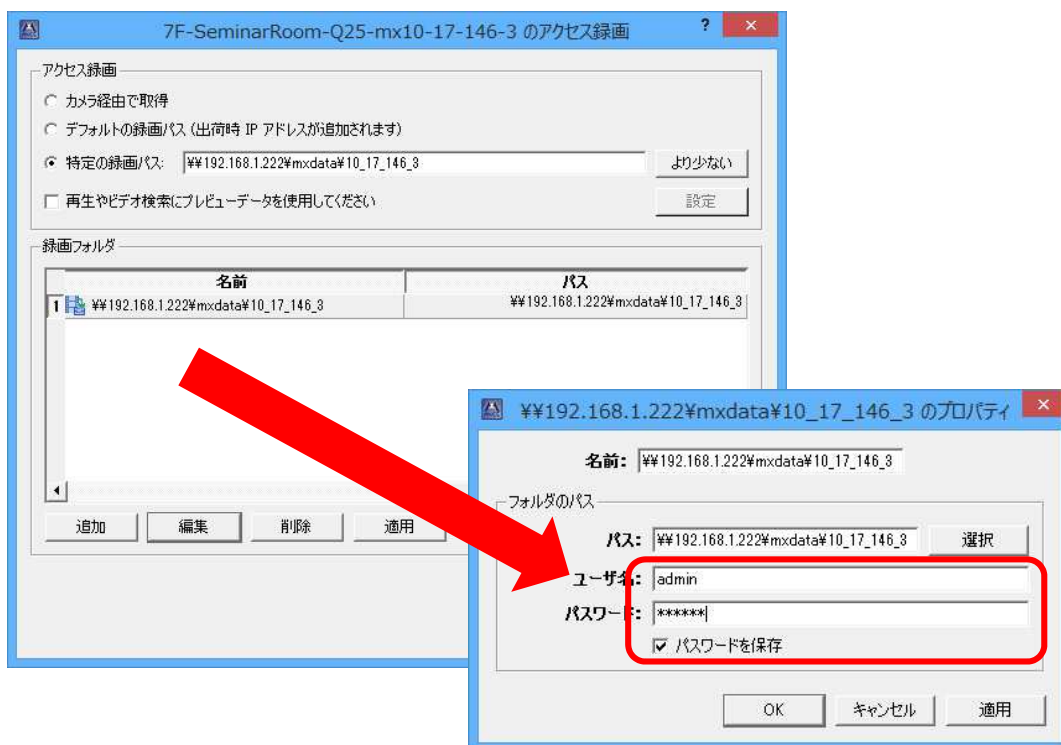
4. アクセス録画の選択で、「特定の録画パス」にチェックを入れ、パスを入力し、「OK」をクリックしてください。



¥¥ファイルサーバ IP¥¥共有フォルダ名¥¥カメラのシリアル番号(10_X_Y_Z)

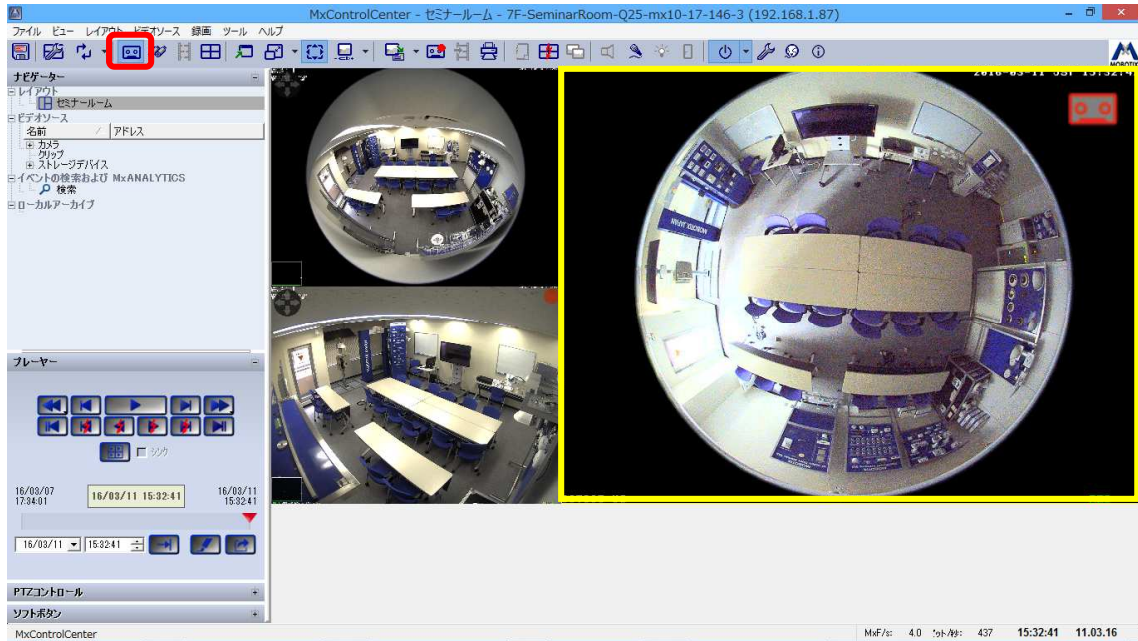
(例 : ¥¥192.168.1.222¥¥mxdata¥¥10_17_146_3)





5. もし、ファイルサーバにアクセス制限をかけている場合は、「詳細」をクリックし、録画フォルダから録画先を選択して「編集」をクリックします。録画フォルダの編集が表示されるので、ここでユーザ名とパスワードを入力して「OK」をクリックして、アクセス録画も「OK」でクリックしてページを閉じます。

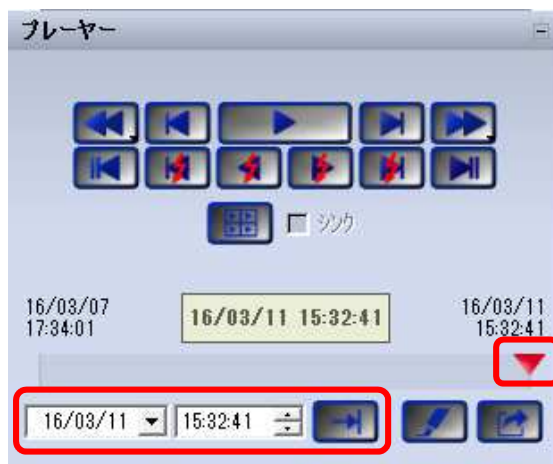


6. 録画画像が見たいカメラのライブ画像をクリックして選択し、ツールバーの  をクリックするか、カメラの表示ウィンドウで右クリックしてコンテキスト・メニューで[録画]>[プレイヤーモード]を選択します。ライブ映像右上に  が表示されます。




7. サイドバーのプレイヤーパネルが表示され、再生ボタンが有効になります。
(普段はグレイ表示)

 をスライドさせるか、左下の検索時間で日付と時間を指定して、 をクリックすると指定した時間で画像検を行います。



STEP 2 録画画像の再生

1. サイドバーのプレーヤーパネルの  をクリックすると再生が開始されます。



	高速巻戻し
	前の画像
	再生
	次の画像
	高速早送り
	開始位置にジャンプ
	終了位置にジャンプ

2. イベント画像の検索を行う場合は、赤い稲妻付きで表示されるボタンをご利用ください。



	前のイベント
	イベントの巻き戻し再生
	イベントの早送り再生
	次のイベント

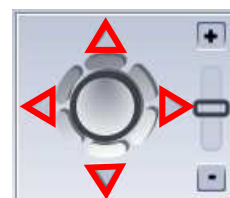
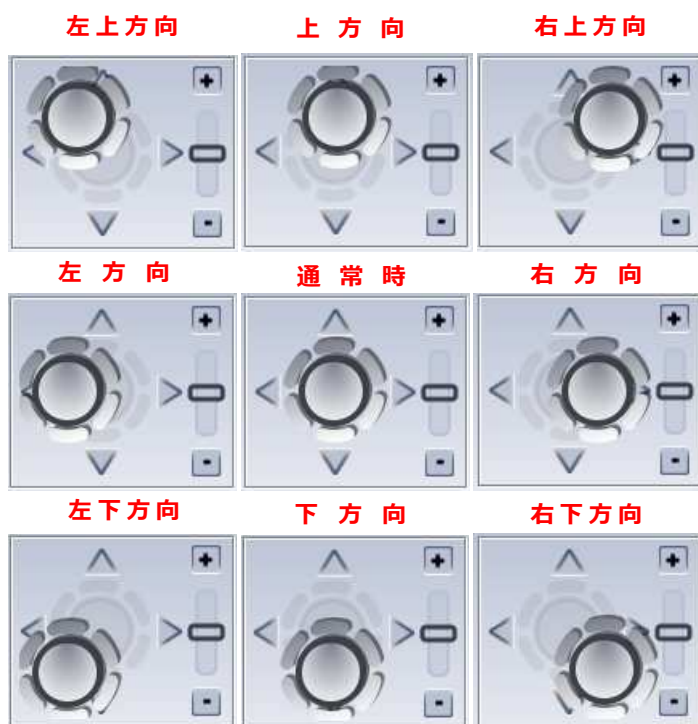
3. 録画画像の再生時も、表示モードの変更や、パン、チル、ズーム機能を利用することができます。表示モードを変更する場合、サイドバーの **PTZ** パネルより **MxCC** の表示モードを変更します。



4. パン、チルト、ズーム機能を利用する場合、PTZパネルより **MxCC** のソフト・ジョイスティックを操作します。※**MxCC** のモードは「変更なし」以外を選択してください。

ソフト・ジョイスティックの操作方法

- ・パン/チルト：ボールをマウスでつまみ、動かしたい方向へ移動させます。



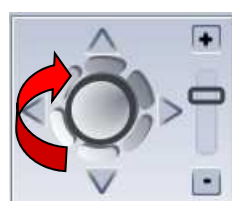
ジョイスティックの上部
4つの△をクリックしても、
移動することができます。

- ・ズーム：ボールの周りのホイールをマウスでつまみ

- ① アップしたい場合は時計方向へ回転




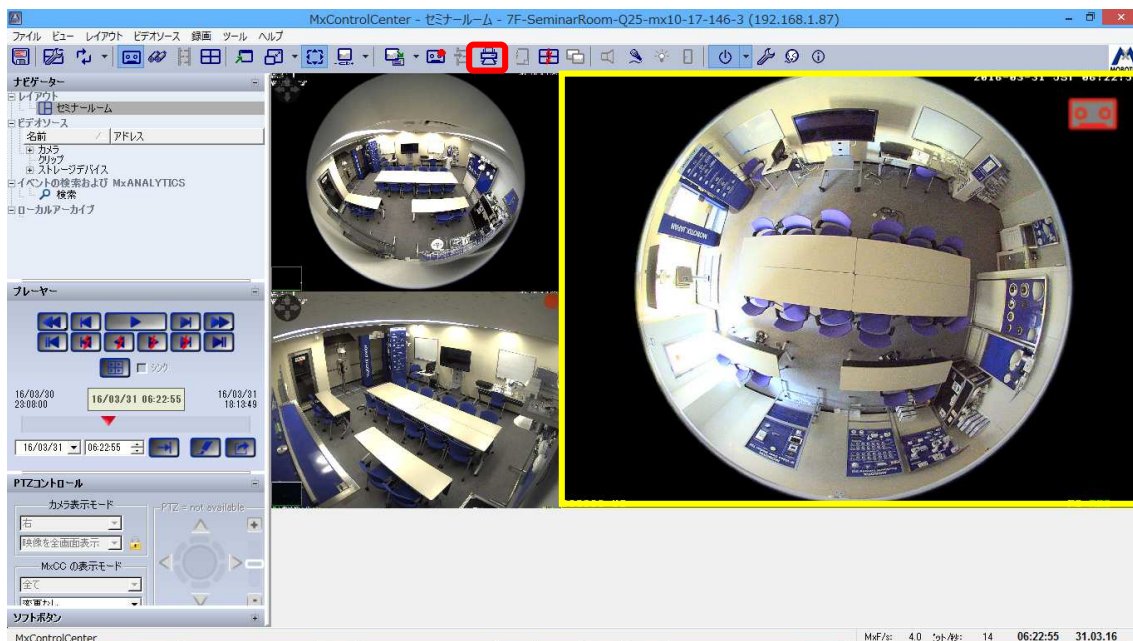
- ② ダウンしたい場合は反時計方向へ回転



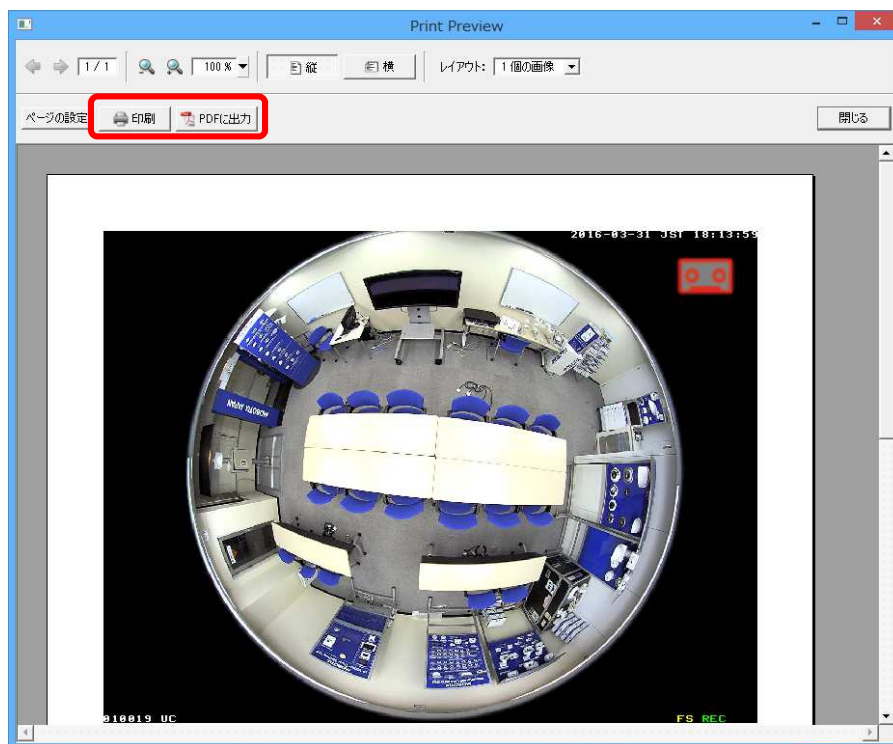
スライドバーの[+]と[-]をクリックしても、
ズームアップ/ダウンすることができます。


STEP 3 録画画像のバックアップ

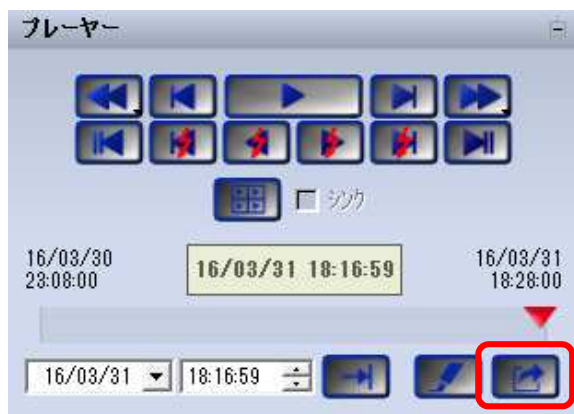
1. 再生画面上の  をクリックすると、画像を印刷もしくは **PDF** 出力することができます。



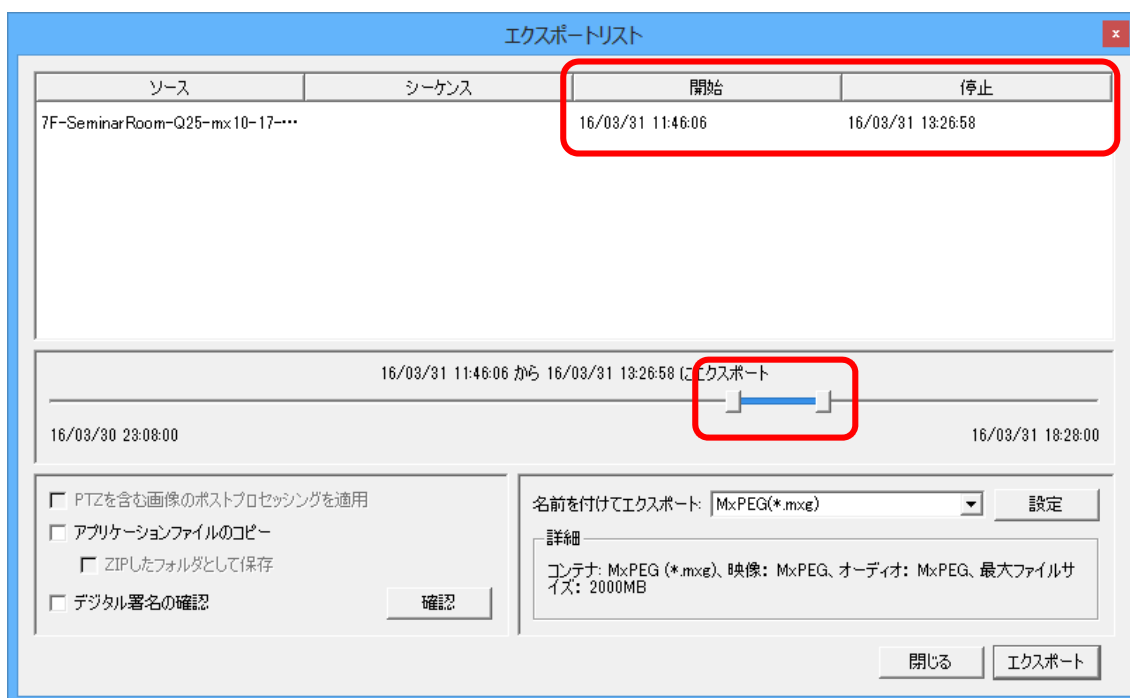
2. プリントプレビューよりレイアウトを選択して、「印刷」もしくは「PDFに出力」ボタンをクリックしてください。



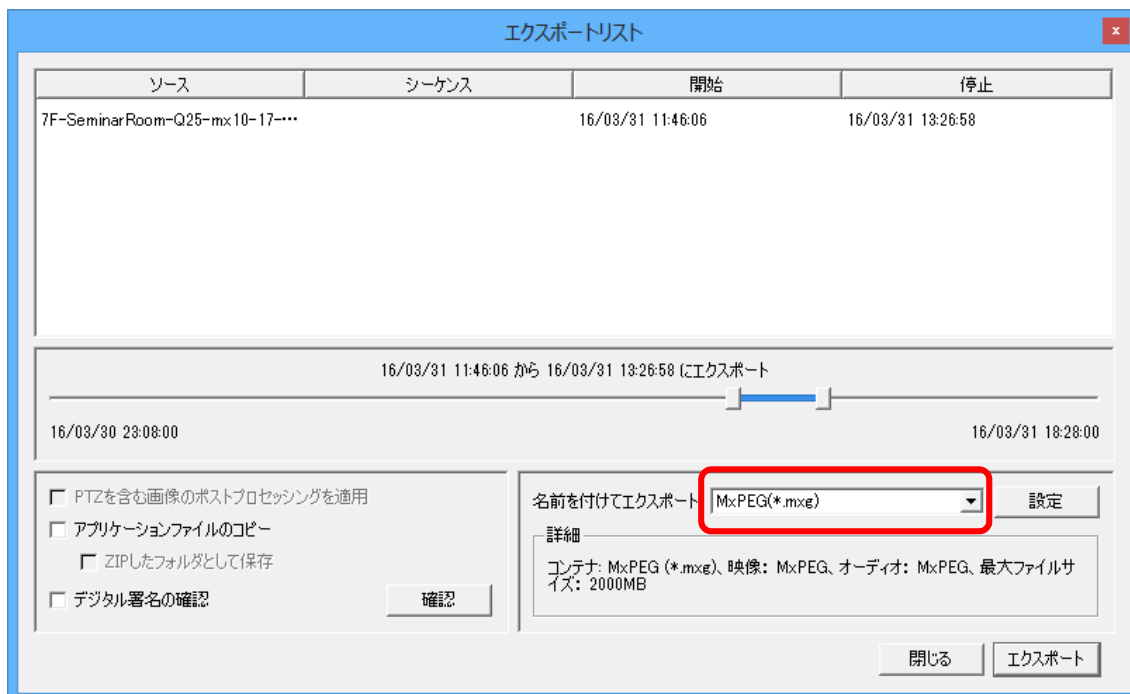
3. 録画画像をビデオ形式で保存する場合、サイドバーのプレーヤーパネルより【エクスポートリストに追加】 ボタンをクリックします。



4. エクスポートリストが表示されたら、エクスポートする録画画像の時間範囲を指定します。時間範囲は日付と時間のフィールドで【開始】または【停止】列をクリックして、値を変更するか、位置表示の開始 / 停止マークを希望の位置に移動させます。
※長期間の時間範囲の指定を行うと、正常にエクスポートできない場合がございます。

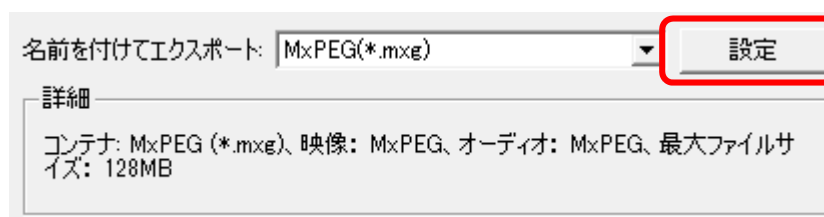


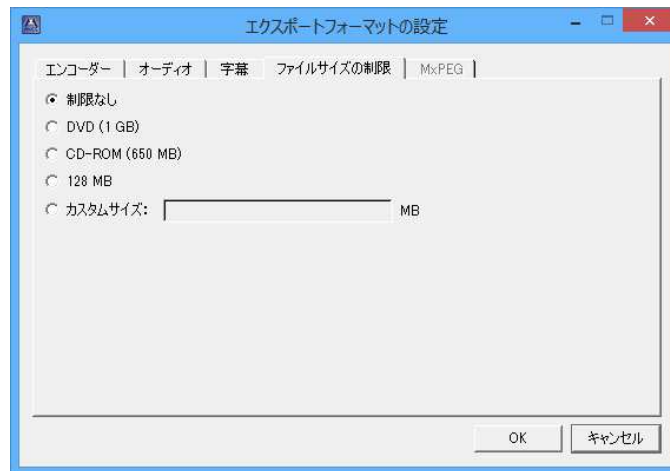
5. 次に、ビデオフォーマットの設定を行います。右下の名前を付けてエクスポートからビデオフォーマット形式を選択してください。



- ・ **ファイルサーバの構造** : 「ビデオソースの追加」で「録画パス」で選択して再度再生することが可能です。
- ・ **MxPEG クリップ** : MxControlCenter で表示できる形式です。(*.mxg) 「ビデオソースの追加」で「MxPEG クリップ」で選択して再度、再生することが可能です。この形式の場合、再度、補正して再生することが可能です。
- ・ **AVI クリップ** : 汎用のビューアソフト(例 : Windows Media Player 等) で再生することが可能な形式です。この形式を使用した場合、巻き戻しや早送りは原則できず、補正も行うことができません。

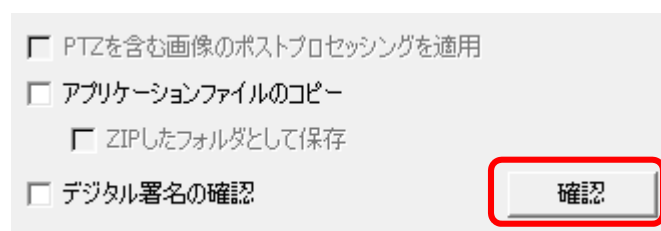
6. MxPEG クリップもしくは AVI クリップ形式を選択した場合、「設定」で詳細内容を設定します。





- ・ **エンコーダ** : エンコード時に解像度、フレームレートおよびビデオの出力の設定を調整できます。
- ・ **オーディオ** : 作成したビデオにカメラで録音した音声が含まれるかどうかを決めます。(録画時にカメラの音声記録が有効になっていることが前提条件)
- ・ **字幕** : タイム・スタンプ、カメラ名、ユーザ定義のテキスト、録画の空白時間の情報などの追加情報を含む挿入ファイルを作成するためにオプションを提供します。
- ・ **ファイルサイズの制限** : 設定したファイル・サイズに達すると、追加(番号付き)のファイルが作成されます。

7. 下記オプションを追加する場合、チェックを入れてください。



- ・ **アプリケーションファイルのコピー** : プログラムファイルも一緒に保存します。次に再生するときには、バックアップ保存したフォルダ内の「**MxCC.exe**」を実行すると、自動的に再生が始まります。
- ・ **デジタル署名の確認** : 録画画像に不正はないか、デジタル署名を確認してチェックします。

8. 最後に「エクスポート」をクリックして、保存先を選択してください。エクスポートが開始されます。



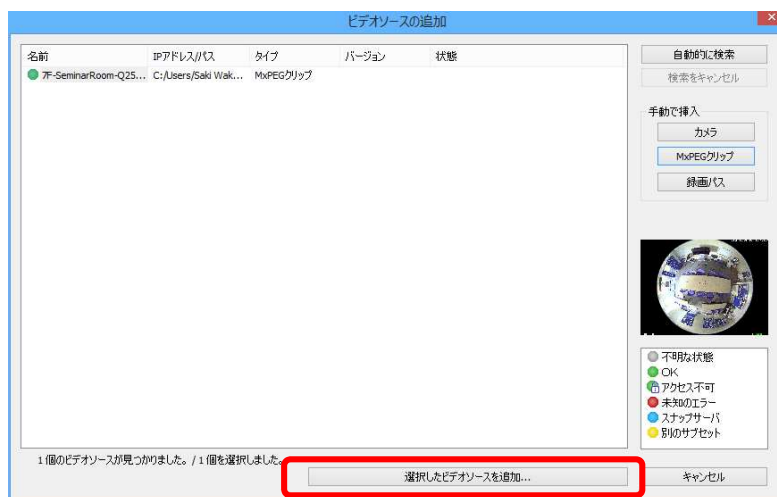
9. エクスポートが完了したら、「OK」をクリックしてください。



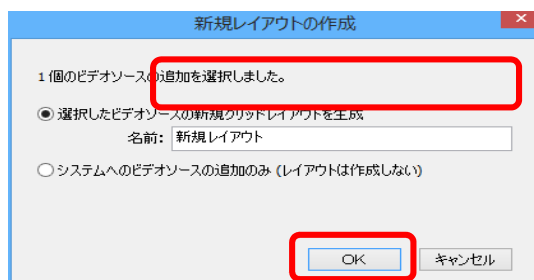
10. **MxPEG** ファイルを開く場合、カメラの表示ウィンドウで右クリックしてコンテキスト・メニューで[ビデオソース]>[追加]を選択します。ビデオソースの追加画面が表示します。



11. 手で挿入の「MxPEG クリップ」を選択すると、ビデオソースが追加されます。対象クリップを選択し、「選択したビデオソースを追加」をクリックします。



12. 「新規レイアウトの作成」画面が開くので、レイアウト名を入力し「OK」をクリックしてください。



13. MxPEG クリップが追加されます。

